

合志市の中心で「愛」をさけぶ

～転入者も若者もジモティも、みんながつながるあたらしい「ふるさと」のカ・タ・チ～

K-mam

政策提言の背景

合志市の人口は平成18年の合併当初から増える一方、若い世代の地区活動への参加率や転入者と既存コミュニティとの繋がりが弱い傾向が見られる。そこで既存コミュニティの人たちの知恵や力を借りて、既存コミュニティと若い世代、転入者が垣根を超えて交流できる取り組みを行い、新しい「ふるさと」のかたちを創造し市民の心と心をつなげていきたい。

課題

1 転入者が既存のコミュニティ活動に参加しにくい

- ・市外出身者の参加が少ない
- ・コミュニティ活動の情報を得ることができない

取り組み

①好きなこと・気になることを出発点に

市の SNS に地域団体や講座、サークルなどの情報を集めて掲載。転入時に QR コードを配布し気軽に情報を得られる機会を提供する。公民館や空き家を有効利用し、SNS で趣味の会を募集。多くの人が参加し交流が生まれることで、新たな地域のつながりが形成される。

②食べて・見て・体験して 楽しみながら好きになる！

レターバスを活用して、市内主要施設見学・農作物収穫・ものづくり体験ができる合志市バスツアーを企画。さらに転入者割引やサービスが受けられるステッカーを配布し、楽しい体験を通して合志市をより深く知ってもらう。



課題

2 若い世代と地域のつながりが薄い

- ・18歳～29歳の若い世代の参加が少ない
- ・時間的制約により参加できない

取り組み

①「自分」を発信できる機会と場づくり

「マンガミュージアム」を活用したオリジナル LINE スタンプ作りや動画制作教室を開講。合志市にちなんだスタンプを作成し、自治体ごとの LINE 回覧板で使用できるようにする。自作スタンプを地域の人々に使ってもらうことで交流のきっかけを生み出すことができる。



②「教育×ゲーム」で交流を生み出す

高専と連携して小学校の必須科目となるプログラミングの知識を学べる教室や地域 e スポーツ大会を開催し、若者の集う場を生み出す。



③時間的制約に捉われないサテライト講座

学校や仕事で昼間の講座に参加できない人のために、広く学びの機会を提供する。

まちのプチ紹介

「元気・活力・創造のまち」を目指す合志市では、運動公園や文化施設が充実しており、市民の交流の場を生み出すことができる。

【ハロウィンスイカ】

合志市と J A が共同開発したスイカ。糖度が高く、ハロウィンの時期に合わせて販売。



【マンガミュージアム】

懐かしの漫画から最新の漫画まで約15000冊の漫画が収蔵されており、つけペン等の道具を実際に使える無料講座も充実。休日は市外からも多くの来場者が訪れる。



〒861-1104
合志市御代志 1661-271

効果

新しいふるさとのカ・タ・チ = 合志市の未来

転入者、若い世代が、社会活動に参画し始める。その余剰効果として、既存のコミュニティの活性化が促されていく。三者が交互に交流を始めることで、合志市は地域や時間という概念をこえて、人と人との心がつながる新しいふるさとが生まれる。また、この活動にはボーダーはないので市を飛び越えて全国でつながる。

